

令和5年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市ウェルネスパーク・むつマエダアリーナ	
指定管理者	団体名	山内土木株式会社
	代表者	代表取締役 山内 将 邦
	所在地	青森県むつ市大湊新町37番12号
指定期間	令和4年4月1日 ~ 令和7年3月31日 (3年間)	
指定管理業務の概要	① 施設の使用許可に関すること。 ② 施設の利用料金徴収に関すること。 ③ 施設の維持、管理及び修繕に関すること。 ④ 施設の特性を活かした利用促進に関すること。 ⑤ その他施設の設置目的を達成するために必要なこと。	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	年間計画額①	上半期実績額②	増減(②-①)
収入合計(A)	252,419	134,297	▲118,122
うち利用料金額	31,327	13,360	▲17,967
うち指定管理料	220,790	120,790	▲100,000
支出合計(B)	252,419	105,182	▲147,237
うち人件費	100,321	50,295	▲50,026
収支差(A-B)	0	29,115	29,115
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由			

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	年 間 計 画 ①	上 半 期 実 績 ②	増 減 (② - ①)
利用者数	センターハウス	19,966	11,508	▲8,458
	克雪ドーム	69,468	20,269	▲49,199
	ウェルネス会員	39,143	21,227	▲17,916
	アリーナ	53,571	32,843	▲20,728
	見学者	0	656	656
	合計	182,148	86,503	▲95,645
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有・無） ・				

4. 自主事業の実施業況

単位：人、千円

事 業 名	利 用 者 数	収 入	支 出
むつ市ウェルネスパーク自主事業	21,227	12,534	9,468
むつマエダアリーナ自主事業	1,538	461	994

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B（適正）：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C（要改善）：指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	A	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	A	A
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	A	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	A	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	A	B
④利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		

①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	A	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	A	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	A	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ※自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目についての改善策を記載すること。

<p>(1)① 両施設の休館日が異なる為、各施設の状況や問い合わせを、いずれの日においても双方の施設で行う事が可能となりました。大会主催者との打ち合わせを適切に行うことにより大会当日の開館時間について柔軟に対応し利便性向上に努めました</p> <p>(3)① 昨年度に比べ使用量として約 24%の削減を行いました。維持管理職員のスキルアップを行う事で、今まで以上に自社で修繕を行える技術を習得し大幅な管理費の削減に努めました。</p> <p>(3)③ 資格取得数 12 件、全体研修を毎月実施し資質、能力向上に努めました。</p> <p>(4)② 修繕発生時には、市と連携し問題解決に向けて事象の共有や工事業者との連絡を迅速に取り施設維持に貢献できたと思います。</p> <p>(4)③ 法令違反は1件もございませんでした。</p> <p>(5)① 3ヶ月先までの予約状況のWeb公開し、利用者の方々が平等に利用できるように努めました。</p> <p>(5)②③ 維持管理職員による毎事巡回点検、全部署による迅速な情報共有、毎月の全体研修会の実施、火災だけではなく地震を想定した避難訓練の実施をする事により危機意識を常に持ち、安心して安全な施設環境の提供ができたと考えております。</p>
--

7. 市の所管課総合評価 ※市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

利用者数を比較すると、むつ市ウェルネスパークはコロナ禍以前の利用者数には及ばないものの、前年度同時期よりも6,500人程度の増加が見られ、むつマエダアリーナも13,000人弱の増加があった。今後は冬期間を迎え屋内スポーツ施設の需要が増えると考えられることから、計画量の達成に向け利用者増加のための働きかけを継続して実施していただきたい。

収支に関しては、利用者数が前年度同時期よりも増加しているものの、利用料収入はこれを下回っていた。しかしながら、今般の燃料費高騰により電気料や燃料費への影響が前年度から出ているが、今夏の高温が続く状況があったのにも関わらず、指定管理者の努力により特にむつマエダアリーナの電力使用量を前年度同時期よりも低く抑えることができ、電気料への影響を最小限にとどめていることについては評価したい。

今年度下半期についても、同様の経営努力により利用者の増加及び支出経費の縮減に努めていただきたい。